

2024 年度 一般入学試験 後期日程

地理歴史・公民・理科 〔世界史 B, 日本史 B, 政治・経済〕 〔物理基礎・化学基礎・生物基礎〕

(試験時間 60 分)

この問題冊子には、「世界史 B」「日本史 B」「政治・経済」の 3 科目及び「理科 (物理基礎・化学基礎・生物基礎)」を掲載しています。解答する科目を間違えないように選択しなさい。

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この注意事項は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。ただし、問題冊子を開いてはいけません。
- 3 この問題冊子は、121 ページあります。出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出 題 科 目		ペ ー ジ	選 択 方 法
地理 歴史 ・ 公民	世界史 B	4 ~ 27	左の 3 科目のうち 1 科目を選択して解答する。
	日本史 B	28 ~ 53	
	政治・経済	54 ~ 77	
理科	物理基礎・化学基礎・ 生物基礎	79 ~ 121	試験時間内に左の 3 科目のうち 2 科目を選択して解答する。

- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 「地理歴史・公民」の科目を選択する者は「地理歴史・公民解答用紙」を、「理科」の科目を選択する者は「理科解答用紙」を使用しなさい。

「理科」は解答用紙 1 枚で 2 科目を解答します。解答の順番は問いません。解答時間 (60 分) の配分は自由です。

裏表紙へ続く、裏表紙も必ず読むこと。

6 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

① 試験コード欄・座席番号欄

試験コード・座席番号(数字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄

氏名・フリガナを記入しなさい。

③ 解答科目欄

解答する科目を一つ選び、科目名の右の○にマークしなさい。マークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。

7 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解答 番号	解 答 欄									
10	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

8 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。

9 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

世界史 B

(解答番号 ~)

第1問 中央ユーラシアで活動した遊牧民について述べた次の文章A～Cを読み、
下の問い(問1～9)に答えよ。

A ユーラシア大陸の東部で、大規模な騎馬遊牧民族として台頭したのが匈奴である。匈奴は①前4世紀頃から前3世紀頃すでにモンゴル高原を中心に活動し、遊牧諸部族を統合した。前3世紀後半に秦によって一時的にオルドス地方から追放されたが、前3世紀末に冒頓が単于になると、 や東胡をはじめとした周辺民族を退けて、中央アジアの大部分を支配した。前200年には前漢を建てた を白登山の戦いで破り、こののち匈奴は、武帝の治世になるまで、前漢から穀物や②絹などを貢納された。

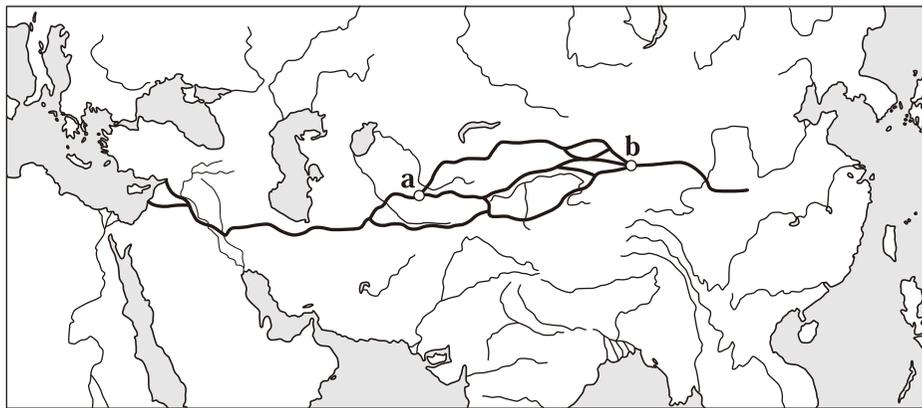
問1 文章中の空欄 と に入れる語の組合せとして正しいものを、
次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア — 月 氏 イ — 項 羽
- ② ア — 月 氏 イ — 劉 邦
- ③ ア — スキタイ イ — 項 羽
- ④ ア — スキタイ イ — 劉 邦

問2 下線部①の時期に起こった出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 2

- ① イタリア半島でスパルタクスの反乱が起こったが、クラッススに敗れて鎮圧された。
- ② キュロス2世が、メディアを滅ぼしてアケメネス(アカイメネス)朝を建てた。
- ③ チャンドラグプタ王が、インド最初の統一王朝であるマウリヤ朝を建てた。
- ④ チャム人が、ベトナム中部にチャンパーを建てた。

問3 下線部②に関連して、次の地図は、前近代の中央アジアの交易路を示している。この交易路に位置する地図中のaとbの都市の名の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 3



- ① a — サマルカンド b — 敦煌
- ② a — サマルカンド b — 竜門
- ③ a — イスファハーン b — 敦煌
- ④ a — イスファハーン b — 竜門

世界史 B

B モンゴル高原では、匈奴以降も様々な騎馬遊牧民族が勃興したが、そのうちの一つが鮮卑である。鮮卑は匈奴の支配下にあったが、2世紀に台頭して現在の中国東北部から③ジュンガル盆地に至る地域を支配した。その後、鮮卑の勢力は分裂したが、その一つの氏族である拓跋氏が五胡十六国時代に北魏を建て、④太武帝の時代に華北を統一した。以後、北魏から隋・唐に至る一連の王朝は拓跋氏と漢人の⑤貴族を中心として形成され、遊牧民と漢人の融和が図られた。

問 4 下線部③を版図の一部にしていた遊牧帝国のジュンガルを滅ぼした清の皇帝の事績について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

4

- ① 清の最大版図を築き上げるとともに、『四庫全書』の編纂^{へんさん}を命じた。
- ② 軍機処の設置や八旗制の改革を行い、キリスト教布教を全面禁止した。
- ③ 三藩の乱や台湾の鄭氏を平定し、ロシアとネルチンスク条約を結んだ。
- ④ 内モンゴルや朝鮮を制圧し、国号を後金から清に改めた。

問5 下線部④の時期に国教化された宗教について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 5

- ① 東晋の慧遠を始祖とし、阿弥陀仏信仰により極楽浄土への往生を説いた。
- ② インド出身の達磨を始祖とし、^{めいそう}瞑想や座禅による修行を行った。
- ③ ペルシア人の阿羅本が布教を許され、中国では景教と呼ばれた。
- ④ 太平道や五斗米道で組織化が始まり、老荘思想と神仙思想や呪術などが融合して成立した。

問6 下線部⑤に関連して、中国の歴史における有力者について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 6

- ① 春秋時代の覇者は、「滅満興漢」を掲げて諸侯の会盟を牛耳った。
- ② 漢代の豪族は広大な土地と多くの農民を支配し、中央政界にも進出した。
- ③ 魏晋南北朝時代の門閥貴族は、上級官僚を世襲的に独占した。
- ④ 管轄区の民・財政権を掌握した藩鎮の一部は、安史の乱の頃から唐王朝に敵対した。

世界史 B

C 華北が北魏によりいったんは統一されたのちも、遊牧民族の興亡は続いた。ゴビ砂漠の北方では鮮卑から分離した柔然が新たに勢力の中心となったが、アルタイ山脈で遊牧を行っていた突厥が西方から侵入し、6世紀半ばに柔然を滅ぼした。その後、突厥は⑥ササン朝と同盟してエフタル等の騎馬遊牧民族を制圧し、中央アジアから⑦モンゴル高原に至る地域を支配した。やがて突厥は6世紀末に東西に分裂し、東突厥はモンゴル高原、西突厥は中央アジアとタリム盆地を中心に支配したが、いずれも7世紀には⑧唐の支配下に置かれることになった。

問7 下線部⑥の国王の事績について述べた次の文 **a** と **b** の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

7

a シャープール1世は、ローマ皇帝ウァレリアヌスを捕虜とした。

b ホスロー1世は、ゾロアスター教の教典ヴェーダを整備した。

① **a** — 正 **b** — 正

② **a** — 正 **b** — 誤

③ **a** — 誤 **b** — 正

④ **a** — 誤 **b** — 誤

問8 下線部⑦に関連して、大モンゴル国(モンゴル帝国)について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 8

- ① チンギス=ハン(成吉思汗)は、ナイマンを滅ぼした。
- ② オゴタイは、総力をあげて遼を攻撃し、滅ぼした。
- ③ モンケ(憲宗)は、バトゥに西アジア遠征を行わせて、アッバース朝を滅ぼした。
- ④ フビライは、朝鮮の新羅に遠征軍を派遣して服属させた。

問9 下線部⑧の時期の文化について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 9

- ① 顔真卿は、『五経正義』の編纂の中心となり、五経の解釈を統一した。
- ② 李白は、「詩仙」と称され、玄宗と楊貴妃をうたう「長恨歌」を作った。
- ③ 玄奘は、インドからの帰路で『南海寄帰内法伝』を著した。
- ④ 呉道玄は、玄宗時代に宮中に入り、立体感を表す画風を生み出した。

世界史 B

第2問 鉄を巡る歴史について述べた次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。

A 歴史上、初めて本格的に鉄器を使用したとされるのは、前17世紀頃に①アナトリア(小アジア)に成立したヒッタイト王国である。その都とされるハットゥシャ遺跡から見つかった数多くの粘土板文書には、前13世紀にヒッタイト王国と②エジプト新王国の間で結ばれた平和条約のほか、鉄の生産に関するものも含まれていた。前1200年頃に「海の民」の侵入を受けてヒッタイト王国が滅亡すると、製鉄技術が^{でんぱ}伝播して周辺地域で広範囲に鉄器が出現し始め、西アジアや③地中海世界に鉄器時代がもたらされた。

問1 下線部①の歴史について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

10

- ① 東西交通の要衝であったリディア(リュディア)では、最古の金属貨幣が使用された。
- ② イオニア植民市の反乱を契機に、ペロポネソス戦争が始まった。
- ③ ニケーア公会議において、カタリ派(アルビジョワ派)が正統とされた。
- ④ アンカラ(アンゴラ)の戦いで、メフメト2世がティムール軍の捕虜となった。

問2 下線部②に関連して、古代エジプト文明について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 11

- ① 古王国のクフ王は、ナイル川左岸のテーベに大ピラミッドを建設した。
- ② アメンホテプ4世は、太陽神アモンの信仰を強制した。
- ③ 冥界の神オシリスの審判を受ける際に必要な呪文を記した「死者の書」が作成された。
- ④ フランスのヴェントリスが、神聖文字(ヒエログリフ)の解読に成功した。

問3 下線部③に関連して、地中海世界に展開された十字軍の経過について述べた次の文a～cが、年代の古いものから順に正しく配列されているものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 12

- a インノケンティウス3世が提唱して結成された十字軍は、コンスタンティノープルを占領し、ラテン帝国を建てた。
- b ルイ9世の指揮の下で十字軍はエジプトに侵攻したが、マムルーク朝に大敗した。
- c 神聖ローマ皇帝フリードリヒ1世(バルバロッサ)、フランス王フィリップ2世、イギリス王リチャード1世が率いる十字軍が侵攻したが、アイユーブ朝のサラディン(サラーフ=アッディーン)との間に講和が成立した。

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a

世界史 B

B 鉄器の生産は各地で大きな社会変革をもたらしたが、その一方で鉄器がもたらされなかった地域もある。アメリカ大陸、とりわけ④メソアメリカ地域からアンデス高原にかけて繁栄した諸文明では、鉄を用いることなく高度な石造建築がつくられた。⑤優れた石造建築を有していたインカ帝国が少数の⑥スペインの征服者たちによって滅ぼされた要因の一つに、鉄器の有無を挙げることができる。

問4 下線部④で発展したマヤ文明について述べた次の文章中の空欄 **ア** と **イ** に入れる語の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **13**

ユカタン半島では前1000年頃から16世紀にかけてマヤ文明が展開し、4世紀から9世紀に最盛期を迎えた。そこでは、**ア**、精密な暦法、**イ**による数の表記法、マヤ文字などをもつ独自の文明が発達していた。

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| ① ア — ガール水道橋 | イ — 二十進法 |
| ② ア — ガール水道橋 | イ — 六十進法 |
| ③ ア — ピラミッド状神殿 | イ — 二十進法 |
| ④ ア — ピラミッド状神殿 | イ — 六十進法 |

問5 下線部⑤に関連して、次の図a～dのうち、インカ帝国の遺跡はどれか。最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 14



a



b



c



d

- ① a ② b ③ c ④ d

問6 下線部⑥に関連して、スペイン人の海外進出について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① バルボアは、パナマ地峡を横断して太平洋に到達した。
- ② コルテスは、インド西岸のカリカットに到着してインド航路を開拓した。
- ③ ピサロは、数度にわたって南アメリカを探検して新大陸であることを確信した。
- ④ ラス=カサスは、インド航路を航行中に流されてブラジルに漂着した。

世界史 B

C 製鉄技術は、18世紀イギリスでの⑦産業革命に伴って大きく発展し、その結果、鉄の生産量は大幅に増加した。また、18世紀後半に蒸気機関が製鉄炉の送風機に採用され、コークス製鉄法が発明されると、良質な鉄の安定的生産も可能となった。このような背景の下、石炭と鉄鉱石の産地である⑧イングランド中部のバーミンガムは、製鉄業や機械工業の中心地として大幅に人口が増加し、鉄や機械の需要を満たすための工業⑨都市として発展した。

問7 下線部⑦について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

16

- ① ハーグリーヴズは、飛び杼(梭)を発明して織布工程の生産性向上に貢献した。
- ② カートライトは、ミュール紡績機を発明して紡績技術を完成させた。
- ③ スティーヴンソンは、蒸気機関車をストックトン、ダーリントン間で実用化させた。
- ④ ニューコメンは、外輪式蒸気船をハドソン川で航行させた。

問8 下線部⑧に関連して、大ブリテン島(ブリタニア)での出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 17

- ① トラヤヌス帝によって、長城が築かれた。
- ② アングロ=サクソン人は、先住のフン人を圧迫して七王国(ヘプターキー)を建てた。
- ③ デンマーク王クヌート(カヌート)が、ノルマン=コンクエストを行った。
- ④ アンジュー伯アンリが、ヘンリ2世としてプランタジネット朝を創始した。

問9 下線部⑨に関連して、歴史上の都市について述べた次の文aとbの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 18

- a インドのデリーは、奴隸王朝以降、多くのイスラーム政権の政治・文化の中心となった。
- b アッバース朝の都のダマスカスは、最盛期に100万近くの人口を擁したとされる。

- ① a — 正 b — 正
- ② a — 正 b — 誤
- ③ a — 誤 b — 正
- ④ a — 誤 b — 誤

世界史 B

第3問 ヨーロッパ史における「皇帝」について述べた次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。

A 西洋における最初の皇帝は、オクタウィアヌスとされる。彼は「アウグストゥス(尊厳者)」という尊称を元老院から贈られ、共和政を尊重しながら「プリンケプス(市民のなかの第一人者)」として元首政を始めたが、それは事実上の帝政であった。彼の治世以降ローマは帝政となり、五賢帝時代を経て、①3世紀には軍人皇帝時代という混迷の時代に入ったが、②ディオクレティアヌス帝がこの混乱を収束させた。しかし4世紀後半には③ゲルマン人の大移動が始まり、その混乱の中でローマ帝国は東西に分裂した。帝国がこのような分裂した後、東と西の帝国にそれぞれの皇帝が君臨していたことが、中世以降のヨーロッパ史に少なからず影響を与えることになった。

問1 下線部①の時期に起こった出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

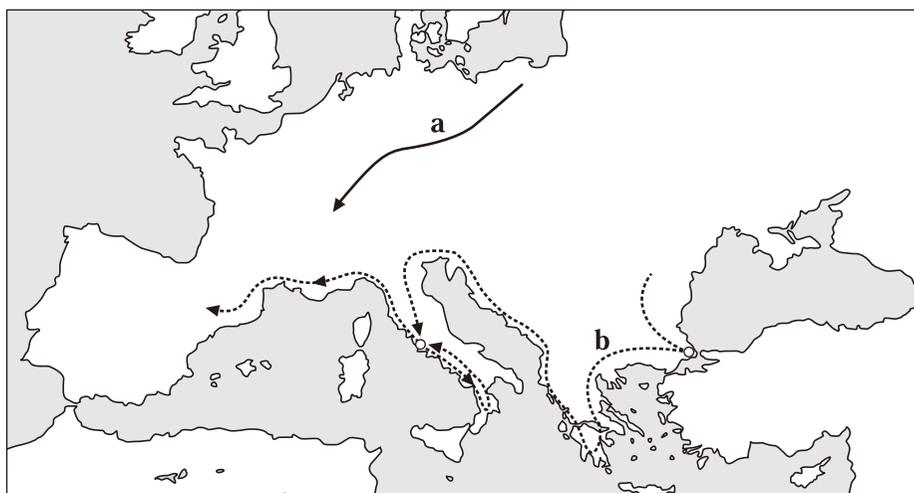
19

- ① イラン東北部にパルティアが興り、イランとメソポタミアを支配した。
- ② チャンドラグプタ1世によって、グプタ朝が創始された。
- ③ スールヤヴァルマン2世によって、アンコール=ワットが造営された。
- ④ 後漢の滅亡後、魏・呉・蜀が分立した三国時代となった。

問2 下線部②の政策について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① 帝国内のすべての自由人にローマ市民権を与えた。
- ② 帝国を東西に分け、それぞれを正帝と副帝の2人が統治する四帝分治制(テトラルキア)をしいた。
- ③ ビザンティウムに新たな首都を建設し、コンスタンティノープルと改称した。
- ④ アタナシウス派キリスト教を国教と定め、ほかの宗教を厳禁した。

問3 下線部③に関連して、次の地図は、ゲルマン人の移動経路の一部を示している。地図中の移動経路 a・b と、その経路を移動したゲルマン人の一派の名の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 21



- ① a — ブルグンド人 b — 西ゴート人
- ② a — ブルグンド人 b — ブルガール人
- ③ a — 西ゴート人 b — ブルグンド人
- ④ a — 西ゴート人 b — ブルガール人

世界史 B

B ゲルマン人の大移動による混乱の中で、西ローマ帝国は、ゲルマン人^{ようへい}傭兵隊長の **ア** によって皇帝が退位させられて滅亡した。その後、8世紀末に④フランク王国によって西ローマ帝国の復活が宣言され、10世紀半ばには、**イ** 朝の王オットー1世の皇帝即位により神聖ローマ帝国という新たな帝国が成立して、再び西ローマ帝国が復活した。両国における「西ローマ帝国」の復活はローマ教会主導の下で行われたが、⑤神聖ローマ皇帝はかつての西ローマ帝国を引き継ぐ形で「皇帝」の称号を使用しており、皇帝は諸国の王の上に君臨するようになった。

問4 文章中の空欄 **ア** と **イ** に入れる語の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **22**

- ① ア — アッティラ イ — ザクセン
- ② ア — アッティラ イ — テューダー
- ③ ア — オドアケル イ — ザクセン
- ④ ア — オドアケル イ — テューダー

問5 下線部④の歴史について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① クローヴィスが、全フランク人を統一してカロリング朝を建てた。
- ② 宮宰のカール=マルテルが、タラス河畔の戦いでイスラーム勢力を破った。
- ③ ピピン(小ピピン)が、新王権承認の返礼にラヴェンナ地方などを教皇に寄進した。
- ④ カール大帝(シャルルマーニュ)は、ヨーロッパに侵入してきたマジャール人を撃退した。

問6 下線部⑤に関連して、カール5世について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① 神聖ローマ皇帝選挙で、フランス国王シャルル7世を破って即位した。
- ② ヴォルムス帝国議会にルターを召喚して、自説の撤回を要請した。
- ③ 新教徒を弾圧したが、ユトレヒト同盟を結んだ新教派の諸侯に対抗された。
- ④ アミアンの和約によって、ルター派を公認した。

世界史 B

C 東ローマ帝国（ビザンツ帝国）は、ゲルマン人の大移動によって大きな被害を受けることはなく、⑥ユスティニアヌス 1 世（大帝）の時代には一時的に地中海のほぼ全域を支配下に置いた。7 世紀以降は公用語がラテン語からギリシア語に変わったこともあり、西欧の⑦ローマ＝カトリック世界とは異なった文化を発展させた。ビザンツ帝国は 15 世紀半ばに滅亡したが、モスクワ大公国のイヴァン 3 世は、ツァーリの称号を用いてビザンツ皇帝の後継者を自任した。しかし、モスクワ大公国の君主が皇帝として西欧世界に認められるのは、18 世紀の⑧ピョートル 1 世（大帝）の時代まで待たなければならなかった。1721 年に「インペラトル（皇帝）」の称号を得たピョートル 1 世は、その後の国力や発言力の増大により、西欧世界にも「皇帝」という称号を認められた。

問 7 下線部⑥の人物の事績について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

25

- ① ヴァンダル王国とランゴバルド王国を滅ぼした。
- ② 皇后イサベルとともに、ローマ帝国の栄光回復に努めた。
- ③ トリボニアヌスらに命じて、『神学大全』を編纂させた。
- ④ 内陸アジアから養蚕技術を導入し、絹織物産業を育成した。

問8 下線部⑦に関連して、ローマ=カトリック教会が大きな力をもった中世ヨーロッパにおける文化について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① アベラールは、実在論の代表的な論者で、「スコラ学の父」と呼ばれる。
- ② ボローニャ大学の神学部は、中世神学の最高権威であった。
- ③ シャルトル大聖堂は、ロマネスク様式を代表するイタリアの聖堂である。
- ④ 『アーサー王物語』は、ブリテン島の英雄を題材とした騎士道物語である。

問9 下線部⑧について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 27

- a スウェーデンとの北方戦争に勝利して、アゾフ海の覇権を掌握した。
- b ネヴァ川河口にペテルブルクを建設して、モスクワから遷都した。

- ① a — 正 b — 正
- ② a — 正 b — 誤
- ③ a — 誤 b — 正
- ④ a — 誤 b — 誤

世界史 B

第 4 問 パレスチナ問題について述べた次の文章 A～C を読み、下の問い（問 1～9）に答えよ。

A 現在のイスラエルを含むパレスチナ地域は、①第一次世界大戦の終結前はオスマン帝国領であった。その戦争でイギリスは、②ユダヤ人と、同盟国側のオスマン帝国に居住するアラブ人のそれぞれにとって都合が良い約束を提示して、双方から戦争への協力をとりつけようと画策した。実際にはそれらの約束を同時に実現することは不可能であり、さらに戦後も、③列強が委任統治領としてこの地域を支配したため、アラブ人とユダヤ人の不満は高まり、彼らの間で対立が激化した。

問 1 下線部①について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

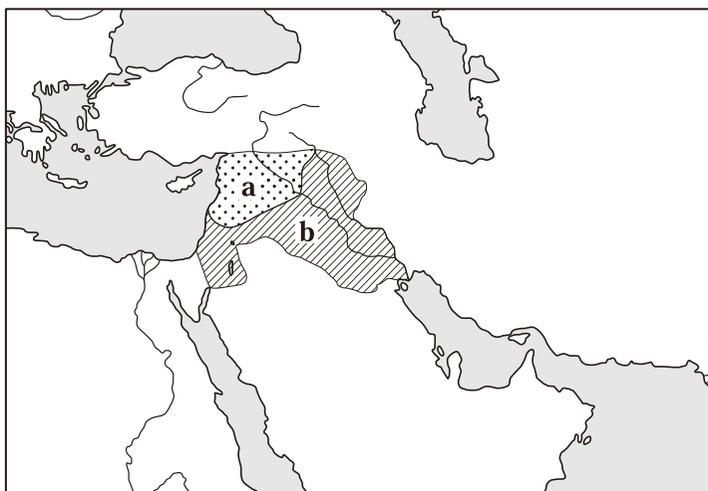
28

- ① オーストリア＝ハンガリー帝国の帝位継承者夫妻が暗殺されたファシヨダ事件を契機に勃発した。
- ② タンネンベルクの戦いで、仏英軍がドイツ軍の進撃を食い止めた。
- ③ ドイツが中立国ベルギーを侵犯したことにより、アメリカ合衆国が参戦した。
- ④ キール軍港の水兵反乱が全国に波及し、ドイツ帝国を崩壊に導いた。

問2 下線部②に関連して、ユダヤ人やユダヤ教について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① イスラエル王国は、ハンムラビ王の時代に繁栄したが、彼の死後に分裂した。
- ② ユダ王国はアッシリア王国によって滅ぼされ、バビロン捕囚が行われた。
- ③ ユダヤ教は、『旧約聖書』と『新約聖書』を教典と認めている。
- ④ パリサイ派は、モーセ律法を厳格に守ろうとする一派である。

問3 下線部③に関連して、次の地図は、西アジアにおける列強の委任統治領を示している。地図中の地域a・bと、この地域を統治した国の名の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 30



- ① a — イギリス b — フランス
- ② a — イギリス b — ロシア
- ③ a — フランス b — イギリス
- ④ a — フランス b — ロシア

世界史 B

B ヨーロッパのキリスト教世界では、中世からユダヤ教徒の迫害がみられた。19世紀になると④「反ユダヤ主義」という人種主義的なことばも生まれ、東欧や⑤ロシアではユダヤ系住民への集団的な暴行事件が多発した。反ユダヤ主義の最たる例は、第二次世界大戦時の⑥ナチス＝ドイツの政策であった。彼らはホロコーストと呼ばれた一連の虐殺を行い、ユダヤ人の絶滅を目指してポーランドのアウシュヴィッツなど各地に収容所を建設し、計画的に政策を進めた。

問 4 下線部④について述べた次の文 **a** と **b** の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

31

- a** 中世後期から、強制隔離されたユダヤ人の集合居住区であるコムーネが設置されてきた。
- b** 19世紀末のヨーロッパで、パレスチナにユダヤ人国家の建設を目指すシオニズムが起こった。

- ① **a** — 正 **b** — 正
- ② **a** — 正 **b** — 誤
- ③ **a** — 誤 **b** — 正
- ④ **a** — 誤 **b** — 誤

問5 下線部⑤に関連して、次の年表に示したa～dの時期のうち、ロシアで農奴解放令が発布された時期として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

32

a
1825年 デカブリスト(十二月党员)の乱が起こる
b
1853年 クリミア戦争が勃発する
c
1877年 ロシア＝トルコ(露土)戦争が勃発する
d

- ① a ② b ③ c ④ d

問6 下線部⑥に関連して、ナチス政権について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① 国会議事堂放火事件を契機に共産党を解散させ、ヒトラー内閣が成立した。
- ② ヒトラーがロカルノ条約破棄を宣言し、ザール地方に進駐した。
- ③ スペイン内戦に干渉し、マドリードに空軍による無差別爆撃を行った。
- ④ ミュンヘン会談で、ズデーテン地方のドイツへの割譲を認めさせた。

世界史 B

C ユダヤ人国家の建設は、⑦第二次世界大戦の終結後、パレスチナのアラブ人地域とユダヤ人地域を分割するという国際連合が提示した案をユダヤ人が受け入れ、イスラエルの建国を宣言したことで実現した。しかし、⑧アラブ人側はパレスチナ分割案に反対し、イスラエルとの間で戦争となった。その結果、イスラエルが独立を確保する一方で、パレスチナの土地を追われたアラブ人は難民となった。その後も⑨イスラエルとアラブ諸国との戦争や対立が繰り返されることになった。

問7 下線部⑦に関連して、この戦争中の連合国側の会談について述べた次の文 a～c が、年代の古いものから順に正しく配列されているものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 34

- a 大西洋上会談(米英首脳会談)の結果、大西洋憲章が発表された。
- b ヤルタ会談で、枢軸国の扱いが協議された。
- c テヘラン会談で、第二戦線の問題が協議された。

① a → b → c

② a → c → b

③ b → a → c

④ b → c → a

⑤ c → a → b

⑥ c → b → a

問8 下線部⑧においてパレスチナ分割案に反対したアラブ人の組織として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 35

- ① アラブ連盟(アラブ諸国連盟)
- ② 中央条約機構(CENTO)
- ③ パレスチナ暫定自治政府
- ④ 中東条約機構(METO)

問9 下線部⑨に関連して、1950年代以降のイスラエルとアラブ諸国の動向について述べた文として波線部の誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 36

- ① スエズ戦争(第2次中東戦争)では、イスラエル、イギリス、フランスがエジプトを攻撃した。
- ② 第3次中東戦争(6日戦争)では、イスラエルが大勝して、アラブ民族主義が衰退した。
- ③ 第4次中東戦争では、パレスチナ解放機構(PLO)が石油戦略を採った。
- ④ エジプトが、アラブ諸国で初めてイスラエルと平和条約を結んだ。

◆ 写 真 提 供 等 ◆

2024年度一般入学試験後期日程【世界史B】

- | | |
|---------------|--------|
| 1)「マチュ=ピチュ」 | 写真：アフロ |
| 2)「ジググラト(聖塔)」 | 写真：アフロ |
| 3)「コロッセウム」 | 写真：アフロ |
| 4)「ボロブドゥール」 | 写真：アフロ |

2024年度一般入学試験後期日程【日本史B】

- | | |
|------------|---------------------------|
| 1)「男衾三郎絵巻」 | 所蔵先：東京国立博物館 |
| | Image: TNM Image Archives |